

日本水工設計

次世代に引き継ぐ「百年水道」

■水道事業環境の変化

人口減少・少子高齢化の進展や経済不況の長期化などにより、水道の事業環境は悪化の一途を辿っています。厚生労働省の水道ビジョンに示された施設更新の逼迫、大規模地震への備え、給水収益の減少、行財政の制度変革などから財源や人材の確保は、益々深刻な情勢が明確になってきています。また、今日では、人が安定的にかつ安心して生活を営むためにも必要な水道事業を安定的に持続するための具体的方策が求められています。

■更新／再構築の契機を生かした事業展開

1. 広域化展開への関与

新たな事業枠組みによる広域化を後方支援し、スケールメリットや官民連携(PPP)などから合理化・効率化あるいは高水準化を提案します。

2. 次世代への負担を抑制した構想展開

- ① 需給の最適化: 将来の需要低迷を視野に、水源の質に着目した水運用や運転効率の適正化に取り組めます。
- ② 安全な水: 水質基準の強化・多様化への対応や水安全計画策定など「安全でおいしい水の要求」に応えます。

③ 安定供給: 耐震性能の重点強化と運用システムによる緊急給水計画、BCPの策定などハード・ソフト面から地震等災害時においても安心を確保します。

④ 環境配慮: 省資源・省エネ、エコエネルギー活用、コージェネ、浄水汚泥の有効利用など、低炭素社会に向けて環境負荷の軽減に取り組めます。

3. 事業の合理化の実現

① 更新整備: 重要度・優先度のリスクマネジメント、及びライフサイクルコストを低減する計画に基づく段階的な更新整備を提案します。

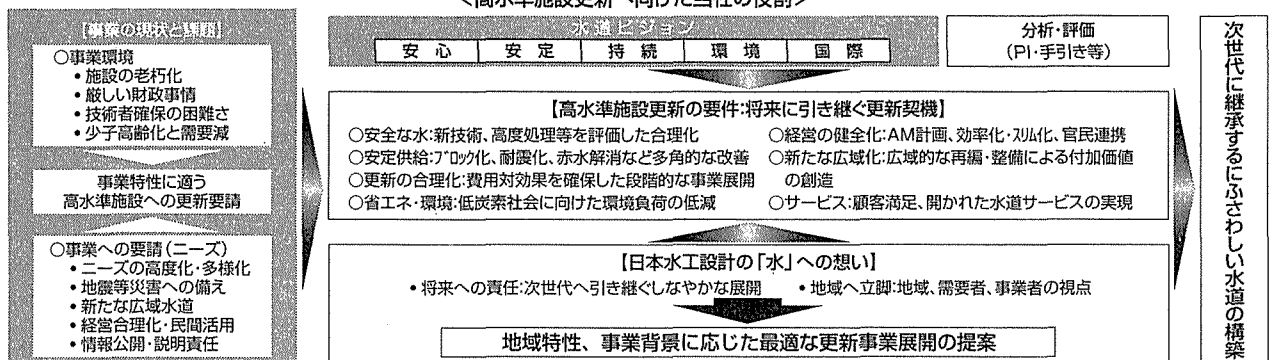
② 健全経営: 経営のスリム化・効率化、官民連携等の多様な事業経営手法を提案します。

③ AM計画: 施設の統廃合など資産管理の最適化によって更新投資を抑制します。

④ 情報公開: 透明性ある情報公開が必須です。説明責任に合う事業計画を提案します。

「私たち日本水工設計は、地域ニーズに合う「次世代に引き継ぐにふさわしい水道の構築」の実現に向け、水の総合コンサルタントとして誠実に取り組んでいます。」

<高水準施設更新へ向けた当社の役割>



【問合せ先】 〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1(日本水工設計(株)水道部)
 TEL. 03-3534-5532 FAX. 03-3534-5540 E-mail water@n-suiko.co.jp http://www.n-suiko.co.jp